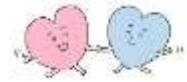


《札幌地方推進委員会優秀賞》



最高の未来へ

富丘小学校 6年 大原 優愛

みなさんは、「この言葉を使うとこの人がきずつく。」と分かりながらも、その言葉を使ってしまった事がありますか？私は使ってしまった事もあるし、言われた事もあります。

言ってしまった時は4年くらい前。私は、一番の親友と大ゲンカをしてしまいました。私は段々イライラしてきて、つい「○○なんかきらい！」と言ってしまいました。私は、「あっ、ヤバイ」と思い親友の顔を見てみました。すると親友はおこったような、悲しいような顔をしていました。私は、「やってしまった…」とその場からにげるように走り去りました。私はそれから一日中親友のその顔が頭の中からはなれてくれませんでした。

そして、次の日に「きらいって言ってごめんね。」と謝ると親友は「私の方こそごめん。」と仲直りできました。その事から人に話す前によく考えるのは大切だと学びました。

言われた時は、クラスメイトに「ちゃんとそうじして！」と注意した時です。その時クラスメイトはそうじの時間なのに友達と話してました。なので私が注意すると、その子に、「は？うるさ。」と言われてしまいました。その子はその後そうじはしてくれたけど、「そこまで言わなくても…」と思いました。

人は、イラッとしたり、ストレスが溜まると、つい、他人にきずつくような言葉を使ってしまいます。なので、みなさんも親や先生から言われているとは思いますが、人のきずつくことや、その解決方法について考えてみてください。

次は、犯罪についてです。「自分はそんな事するはずない。」と思っている人が多いと思いますが、そう思っていた人が罪を犯してしまう事がよくあります。もしかしたら、あなたの周りにも、しょう来、罪を犯してしまう、そんな人がいるかもしれないほど、「罪」

という言葉はみなさんの近くにあります。

「罪を犯すか」、「未来についてしっかり考え、充実した毎日を過ごすか」。このたった二つの選択肢で人生はコロリと変わってしまいます。しかし、その選択肢を上手く使えば、得した人生を得る事ができるかもしれません。「自分は大丈夫。」「自分には関係ない話。」

そういう思いこみが、あなたを、「罪を犯す未来」へ連れていこうとしているのかもしれませんが。なんでも、一自分には関係ない話だ一。の一言をくり返さず、一自分はこの場合、どうすればいいのか一。と思うくせを付けてみてください。自分の未来について考えてみてください。そのくせが、あなたを「充実した毎日」という未来に連れていってくれるはずですよ。さっき説明した、「人をきずつけない言葉」について考えてみるのも充実した毎日への近道です。「ありがとう。」「ごめんね。」「大丈夫。」「すごい。」「おめでとう。」「がんばったね。」他にも、人に言うによろこんでもらえる言葉はたくさんあります。その言葉をたくさん使うことで、相手もよろこぶし、自分も良い気分になります。

ぜひ、みなさんも、相手も自分もよろこぶような言葉を使ってみてください。

今回は、「人をきずつけないように」「罪を犯さないためには」「人がよろこぶ言葉」について説明しました。みなさんも、私が説明したことを思い出して実現してみてください。

みなさんで最高の未来へ足をふみ入れましょう。

